

多様化、複雑化する時代の中、一人一人の子どもたちが、自分のよさや可能性を認識し、他人に対しても価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓いていくための資質・能力の育成をめざします。

### 重点目標と具体的な行動目標

#### 1 学力の充実

- 生徒の学習改善、教師の指導改善につながる学習評価を進め、「主体的・対話的で、深い学び」の実現を目指します
- ペア・グループ学習を効果的に活用し、自らの考えを深め、判断・表現し、他者とともに考えを深める言語活動の充実を図ります
- 数学、英語における習熟度別少人数指導等、生徒の実態に応じたきめ細かな指導を行います
- 家庭における計画的な学習習慣の定着を図ります

#### 2 生徒指導の充実

- 生徒憲章の精神や、生徒との対話・信頼関係を基盤とした、意図的、計画的な生徒指導を進めます
- 全ての教育活動を通して、生徒の自己有用感を育みます
- 教育相談、QU アンケート等を活用し、生徒理解を深め、生徒が安心して生活できる居場所づくり、学級集団づくりを進めます
- どの生徒にもいじめは起こらうという視点に立ち、いじめ調査等を活用し、いじめの早期発見、早期解決に取り組みます

#### 3 進路指導の充実

- 職業調べや職場体験などを通して自己理解を深め、自分の果たすべき役割や自分らしい生き方につながる進路学習を進めます
- 校内における進路指導のデータを蓄積、分析し、的確な進路情報を生徒・保護者に提供します

#### 4 特別支援教育の推進

- 特別な支援を必要とする生徒の教育的ニーズの把握に努め「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成を進めます
- 生徒の特性に応じた指導・支援に関する情報共有を進め、チームによる適切な支援を行います
- 全ての生徒が「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できる、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりを進めます

#### 5 道徳教育・人権教育の推進

- 自立した人として他者よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、考え、議論する授業を積極的に展開します
- 様々な立場の人との出会いを通して、社会を変えていく主体者としての行動力につながる力の育成を目指します
- 教員自身が確かな人権感覚を身につけ、小中学校が連携した人権フォーラムや人権集会の充実を図り、差別解消に向け地域との連携を進めます

## 令和5年度 学校経営方針

- 健康で安心な学校生活
- 社会性の育成
- 確かな基礎学力
- 充実した学習
- 学校運営の改善
- 教育環境の整備
- 保護者・地域との協力



真理を学び  
理想をかかげ  
歴史を創る若人

南が丘中学校の教育目標

**自立・尊重・創造**

南が丘小中学校の9年間で「学び追求する子ども」「仲間と協調し目標に向かって行動する子ども」「心豊かでたくましく未来を創造する子ども」を育成する。

めざす生徒像

- 自ら学び、考え、判断し、行動する生徒
- 互いの個性を認め合い他者を尊重する生徒
- 勤労を尊び、社会に貢献する生徒
- 健やかでたくましい心と体を持つ生徒
- 国際的な視野を持ち、創意工夫する生徒

めざす学校像

(ぬくもり・信頼・つながりのある学校)

- 安心して学べる学校
- 保護者に信頼される学校
- 地域とともにある学校
- 小学校とともにある学校

めざす教師像

- 信頼され尊敬される教師
- 学び合い、学び続ける教師
- チームワーク、ネットワーク、フットワークを活かす教師

南が丘小学校の教育目標

ともに学ぶ楽しさを実感できる教育

#### 6 特別活動等の充実

- あいさつの励行や校内の美化など学習環境を整備し、一人一人が自立に向けて学びを深め、行動する意識を醸成します
- 生徒の主体的な活動を促し、望ましい人間関係を形成します
- 学校行事や学級、学年活動を通して集団への所属感や連帯感を深め、互いを尊重しよりよい学校生活を築こうとする態度を育てます

#### 7 健康・安全・食教育の推進

- 健康や安全、食についての理解を深め、生涯にわたり健康で安全な生活を送るための基礎となる知識や習慣を育成します
- 体験的な学習や訓練等を通し、命を守る態度や行動力を養います
- あらゆる教育活動を通して自他の命の尊さを理解し、思いやりを持った行動ができる生徒の育成に取り組みます
- 授業や部活動を通じて生徒の健康・体力向上に努めます

#### 8 小中一貫教育の推進

- 隣接する一小一中学校の利点を生かし、小中学校の段差を解消し、小中が一体となった教育活動に取り組みます
- 小中学校職員相互の理解を深め、9年間を見通した学習習慣、生活習慣の定着や、児童・生徒の交流を進めます

#### 9 開かれた学校づくりの推進

- 学校だよりや学校 HP、学年通信等を通じた情報発信に努めます
- 学校公開や PTA 活動などを通し、保護者や地域との交流や地域の教育力の有効活用を進めます
- 南が丘学校支援委員会による提言を踏まえ、教育活動の改善に取り組みます

#### 10 教職員の資質向上の推進

- ICT機器の活用や授業交流、授業研究を推進し、魅力ある授業づくりや授業に対する生徒の満足度の向上に取り組みます
- 日々の研修の充実を図り、学び続ける姿勢を生徒に示します
- 心身の健康管理に努め、笑顔で生徒の指導に当たります
- ワークライフバランスを大切に、総勤務時間の縮減に取り組みます

#### <数値目標>

- 一人あたりの時間外在校等時間の上限 月 45 時間、年 360 時間
- 月 45 時間超の勤務者、0 人
- 100 時間以上勤務者、0 人
- 定時退校日数2日以上、80%
- 休暇取得日数、1日増
- 放課後会議時間短縮、60 分以内を 80%以上
- 予定通り部活休養日を実施した部活動の割合、100%

学校評価の要素 : 生徒アンケート、南が丘学校支援委員会アンケート、行事後の各種アンケート QU アンケート検査等  
 評価に係わる組織 : 学校評価推進委員会、南が丘中学校学校運営協議会 (意見)、南が丘学校支援委員会 (提言)